

江差町にラウンドアバウト(環状交差点)を導入！

～道内国道では、上ノ国町・浜頓別町に次いで3箇所目～

函館開発建設部は事故危険区間の解消のため、江差町姥神地区にある「国道228号」と「かもめ島へ向かう道路」が交わる交差点の交通事故対策について、関係機関と協議を進めてきました。

この度、その協議が整ったことから、ラウンドアバウト(環状交差点)の整備に向けて、今後は地域の皆様と協議を進めていきます。

ラウンドアバウト(環状交差点)の整備により、交通事故の減少・歩行者の安全向上を図ります。

【当該交差点の課題】

現在のかもめ島入口交差点の周辺は、国道のカーブ内に「いにしえ街道」や「かもめ島へ向かう道路」など複数の道路が交差しており、追突事故などが発生していることから、事故危険区間に選定されています。

【ラウンドアバウト(環状交差点)とは】

車両の通行する部分が環状の交差点であって、信号機を設けず、道路標識により車両がその部分を右回り(時計回り)に通行することが指定されているものをいいます。

【ラウンドアバウト(環状交差点)導入により想定される効果】

- ・交差点の進入・通過速度が低下することによる交通事故の減少、歩行者の安全性向上
- ・信号機の設置が不要なため、災害等による停電時でも混乱なく交通処理が可能
- ・地域のシンボルとして景観形成・観光振興に寄与

函館開発建設部は、交通事故データや地域の方々からの意見を基に選定された「事故危険区間」について、集中的・重点的に交通事故の撲滅に取り組む「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」を推進しています。

事故ゼロプラン HP https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_iji/ud49g70000008w0s.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

道路計画課 課長

にいだ ゆうじ
新井田 勇二 (0138)42-7618

道路設計管理官

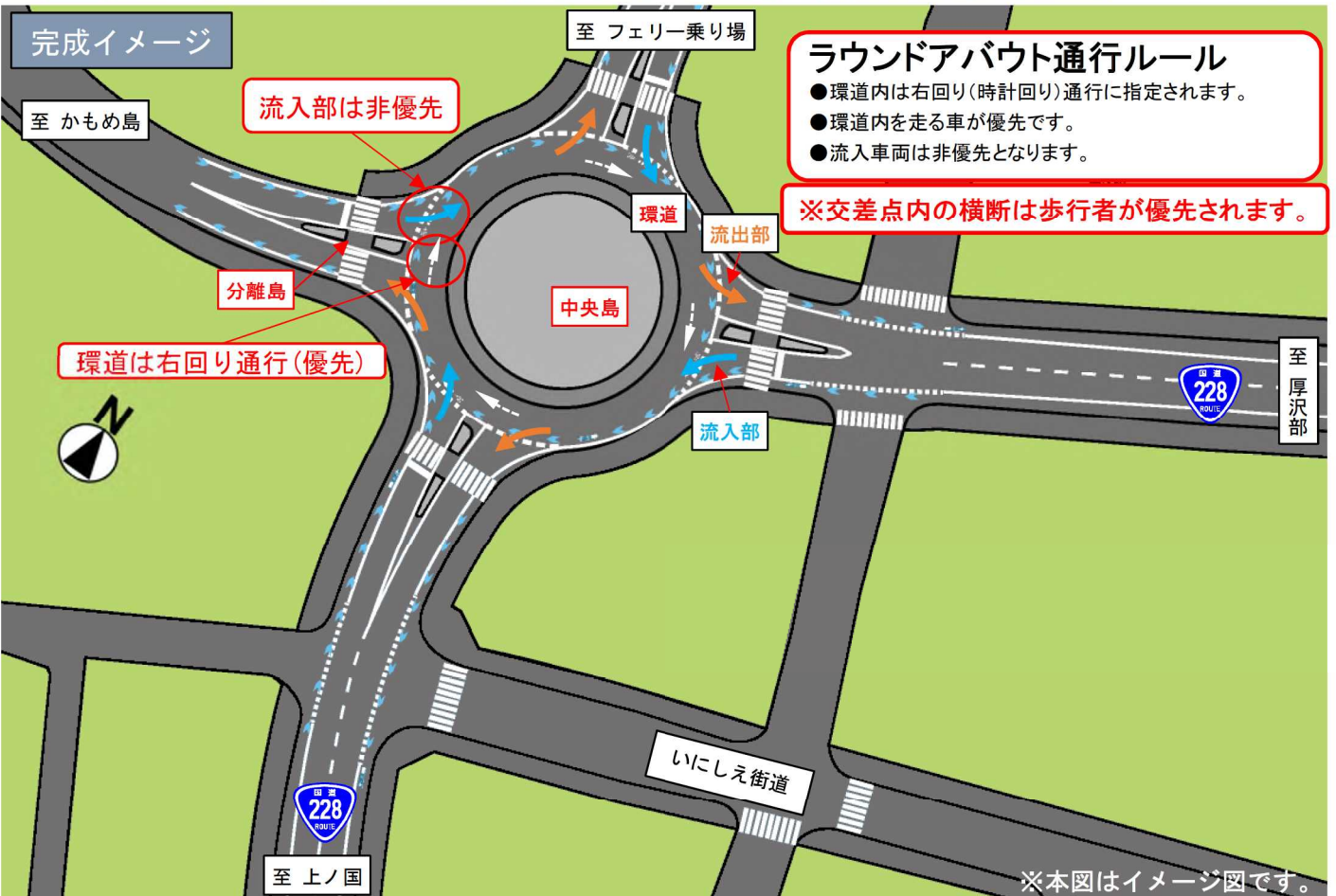
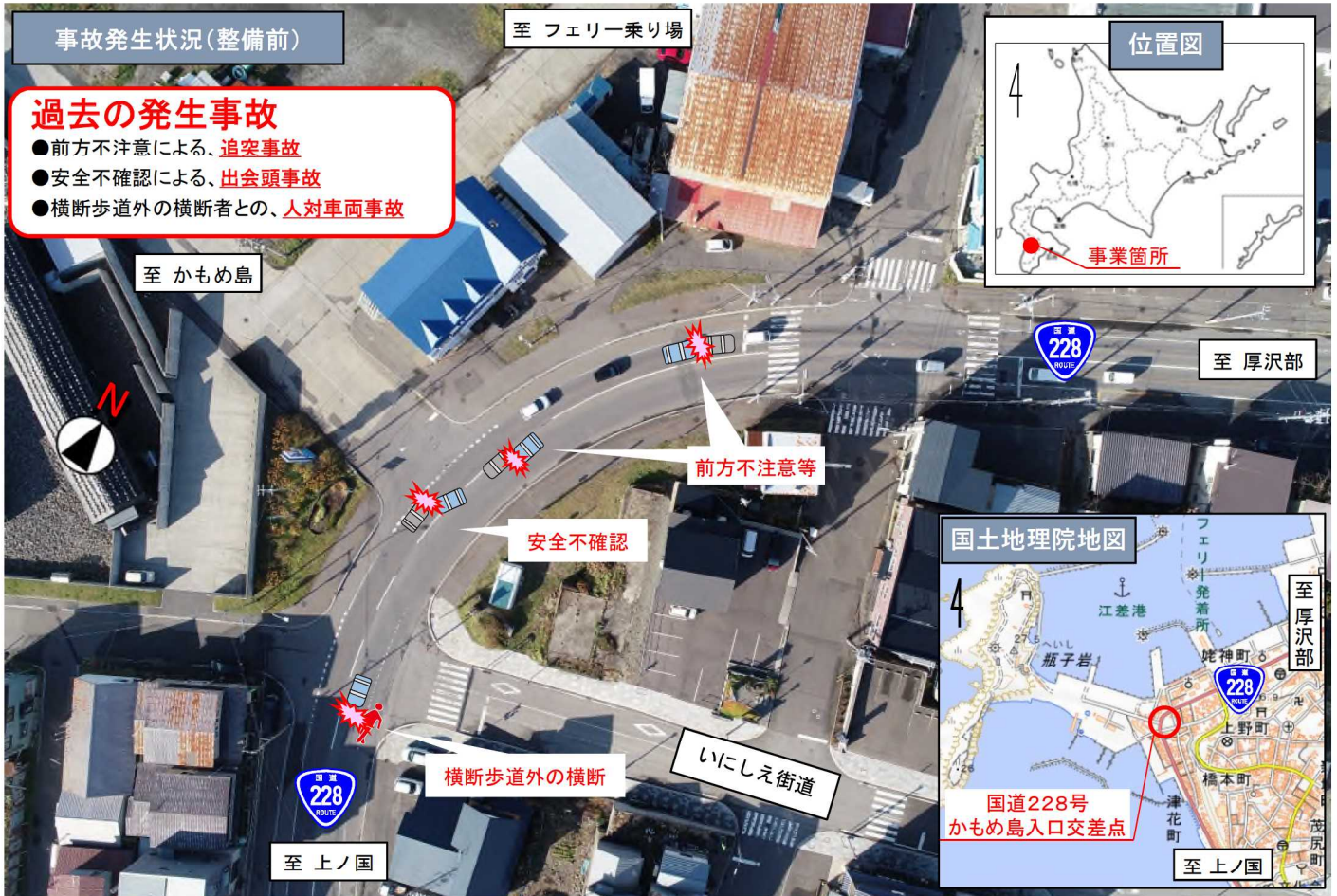
みま ひろき
美馬 大樹 (0138)42-7560

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



国道228号かもめ島入口交差点のラウンドアバウト導入について

～事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)を推進～



上ノ国町大留交差点 ラウンドアバウト完成(2019年10月)後の整備効果

【安全性の向上】

- 大留交差点への平均流入速度が減少し、環道内の走行速度も減少
- 整備前は8件発生していた死傷事故が、整備後は0件に減少

【円滑性の向上】

- 信号が無いことにより、待ち時間が削減

【災害時の安全性の向上】

- 災害時(停電)の安全な早期運行再開が可能

位置図

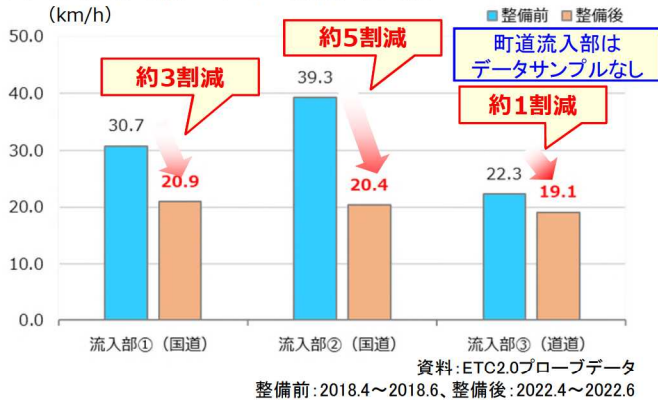


事業箇所

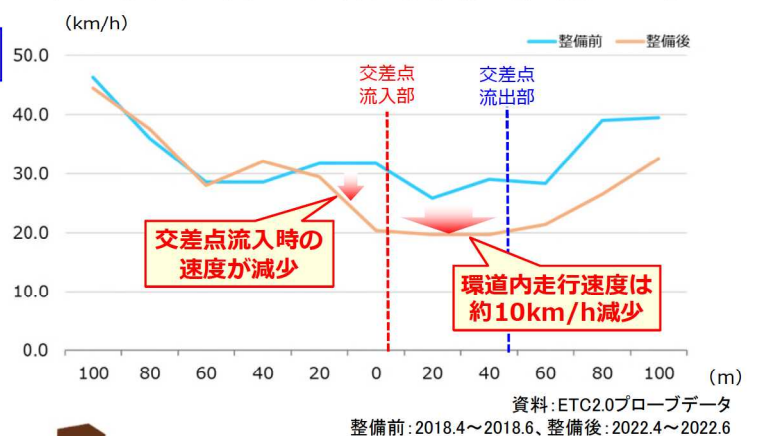
整備効果検証結果



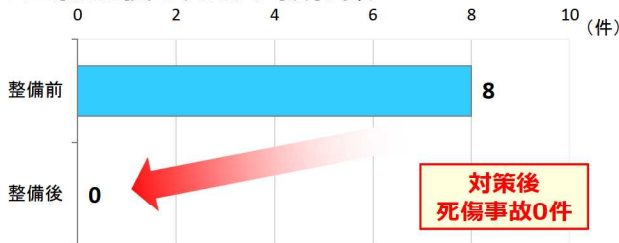
▼大留交差点への平均流入速度



▼交差点通過車両の走行速度変化【進行方向A】



▼整備前後の死傷事故件数

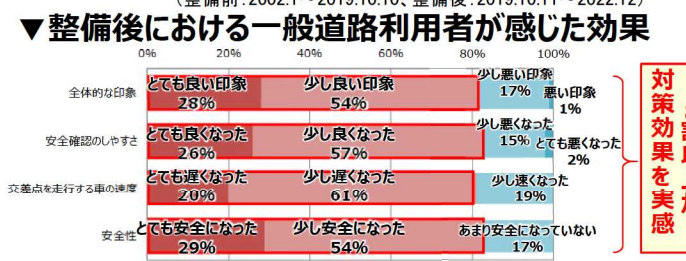


道路利用者の声
整備前は複雑な形状の交差点で通行の仕方が分かりづらかったです。ラウンドアバウトの整備により通行方法が単純になり、交差点流入前に速度を落とすため安全になったと感じます。

道路利用者の声
整備前の交差点は、交差方向に車両がない時でも信号が変わるのを待ち続けなければなりませんでした。整備後のラウンドアバウトは信号が無いので、待ち時間が減りスムーズな運転が可能になりました。

バス事業者の声
胆振東部地震の停電の際は、電気の復旧を待っての運行再開でしたが、ラウンドアバウトは信号制御の交差点ではないため、災害時の安全な早期運行再開が可能と期待しています。

▼整備後における一般道路利用者が感じた効果



対策効果を8割以上が実感